



廃食油からはじまる地域循環～「暮らしのぬくもり創造企業」を目指して～

弊社は滋賀県高島市で1953年から続くまちの燃料屋です。

LPガスや灯油などの生活に欠かせないエネルギーの供給を通して、お客様の生活に寄り添い、暮らしにぬくもりをお届けしてまいりました。

そんな中、時代は急速な気候変動の影響のため、脱炭素・循環型社会へと舵を切り始めました。

弊社も従来の化石燃料中心の事業から再生可能エネルギーなどの循環型のエネルギー事業に取り組み、持続可能な地域の未来を創っていくための挑戦を始めました。



その第一歩が廃食用油のリサイクル事業で、家庭や飲食店から出る使用済みのてんぷら油を回収し、「バイオディーゼル」という軽油の替わりとなる燃料の製造を行っています。

バイオディーゼルは植物性の食用油が原料であり、使用時に発生するCO₂は原料植物が成長段階で光合成により吸収していると考えられるため、大気中のCO₂を増やさないカーボンニュートラルなエネルギーです。

今後もバイオディーゼルの限らず、地域に眠っている資源を掘り起こし、持続可能なエネルギーの供給に取り組んで参ります。そして、地域の未来に明るい灯火をともし、物心両面でぬくもりのある暮らしを未来につないでいける「暮らしのぬくもり創造企業」を目指し邁進していきます。



バイオ燃料専用機



高純度バイオディーゼル燃料



有限会社橋本燃料



住所: 高島市今津町今津230 / バイオディーゼル製造所: 今津町今津1656-2
TEL: 0740-22-2140 FAX: 0740-22-2192
HP: <https://hashimotonenryo.com> 創業: 1991年11月 資本金: 300万円
業種: LPガス・灯油・木炭等・燃料小売事業・廃食用油リサイクル事業・住宅設備機器販売施工



専務取締役
橋本翔太 さん

暮らしの中で利用するエネルギーは時代によって移り変わります。弊社も創業当初は薪や木炭を販売していました。そこから安価な石油製品が普及し、現在においては電気が大きく台頭しています。これからの時代においては、そこに持続可能性や環境への影響などの視点が重要になっていきます。そのような時代の変化に対応し、ぬくもりのある暮らしを未来につないでいくお手伝いを、事業を通してしていきたいと思ひます。



「普通に、木の文具」シリーズ 木のふぁいる

びわ湖の森を元気にするプロジェクト

びわ湖の東、滋賀県湖東地域を中心に、びわ湖の森に携わる企業や行政などさまざまな人々が集まって、びわ湖の森を元気にする仕組みづくりをはじめています。

地域“財”を活かした商品開発

地域の小径木や間伐材を中心に、びわ湖の森の恵みを活かした商品を、活かす技をもつ職人さんとともに生み出し、人々が生活に取り入れる。そんな自然なサイクルを創造することを目的としています。



「普通に、木の文具」

シリーズ 木のふぁいる

この木のふぁいるは、板紙のうえに、木を薄くスライスして貼って仕上げています。手触りも見え、そ



木のふぁいる

して香りも木ですが、とても軽く、普段使いに おすすめです。本物の木を使用しているため、1点ずつ木目や色が異なります。お部屋の中、オフィスに癒やしの空間が生まれます。ご購入頂くことで、間接的に森林整備に貢献出来る仕組みです。

●廃棄の際、古紙としてリサイクル出来ます。

●自然素材の為、木材の特性により、節又は多少のひび割れがする場合があります。

「内閣総理大臣表彰 受賞」

令和6年(2024年)4月26日 我々一般社団法人kikitoのこれまでの取り組みを評価いただき、「緑化推進運動功労者 内閣総理大臣表彰」を受賞いたしました。今後ますます間伐材の有効利用を中心に、森林整備と地域経済の循環、環境の保全へ貢献できるよう励んでまいります。



一般社団法人kikito



住所: 東近江市一式町564-5 / 事務局 愛知郡愛荘町上蚊野450
TEL: 080-3862-1438 FAX: 0749-20-9694
HP: <https://www.kikito.jp/>
創業: 2012年4月
業種: 間伐材買取事業、企業の森のコーディネート、紙製品・文具の販売等



代表理事
大林恵子 さん

木製と聞くと、高価なイメージがありますが、普段使いしてもらえる価格帯を意識し、ひとりでも多くの方にびわ湖の森に目を向けて頂くきっかけになればと思っています。



住江テクノ株式会社(甲賀市)



使ったペットボトルをカーペットへ

1989年よりカーペット用糸の製造を開始しましたが、SUMINOEグループの開発基本理念である「KKR+A」(健康と環境に配慮した技術・製品・サービスの提供)を基に、これまで継続してペットボトルのリサイクルペレットを主原料としてきました。現在ではカーペット以外にも織生地や不織布、紐の材料としても供給しており、家庭用カー



ペットやカーテンをはじめ、自動車内装材、店舗用ダストコントロールマット、掃除用タワシ等、日常生活の一部としてご利用いただいております。



リサイクルペレットを主原料にしたタイルカーペット

使い終えたペットボトルを再利用することで、資源の有効活用や二酸化炭素の排出削減に取り組んでおりますが、使用済みペットボトルの洗浄や自主回収にも取り組み、弊社協力会社様を通じたりサイクル工程を経て弊社製品をご利用いただくことで、皆様にもリサイクルを身近に感じていただき、環境負荷軽減に皆様と一緒に取り組んでいきます。

将来にわたってペットボトル以外の環境商材の開発や工場内廃棄物の削減に取り組む、全ての方々の健康と環境に配慮した生産活動を行ってまいります。



ペレット製品



住江テクノ株式会社

住所: 滋賀県甲賀市甲賀町神保53-5 TEL:0748-88-5727(代) FAX:0748-88-5729

HP: <https://suminoe-techno.co.jp/>

創業:2013年 資本金:9,000万円

業種:再生PETボトル原料を使用した自動車内装材用及び家庭・業務向けカーペット用の原糸製造と、オレフィンフィルムラミネート設備を使用した自動車内装材・建築資材・土木資材の製造。

住江テクノ株式会社は、SUMINOE GROUPの基幹製造部門として、環境への負荷を最小限に抑える持続可能な未来を目指し、地球と共に生きる企業としての責任を全うしつつ、使う人が笑顔になる「価値ある製品」の創出を目指しております。

滋賀工場では、自動車向けカーペットを中心に、人にやさしく、地球にやさしい製品を生産し、快適にすごせる空間造りを0からデザインしています。

製造部 山内



滋賀県立大学 あかりんちゅ(彦根市)



残ろうの回収・加工、そして地域のイベントへの利用

あかりんちゅは、捨てられてしまうろうソク(通称残ろう)を回収、残ろうの加工を行い、加工したものを地域のイベントで使用するという活動を行っています。この活動は、「エコ」と称された「キャンドルナイト」に参加した際に、大量のキャンドルが捨てられていたのを目撃し、もっと環境に配慮した活動はできないかと考えたことをきっかけに始まりました。



残ろうの加工の基本は、残ろうを鍋で溶かし、クレヨンで色付けし、ろうの温度が下がるのを待って、クッキーの型や手で形を整えるというものです。普段キャンドル作り体験で作ってもらう「ブロックキャンドル」は、バット(トレー)に液体のろうを入れて固めて作った、1辺約1cmのキャンドル片を使用します。キャンドル作り体験は幅広い年

代の人に楽しんでもらえるため、様々なイベントで実施しています。

キャンドル作り体験に参加した方から、キャンドルや活動内容についての質問をいただき、お話をさせていただくことがあります。私たちの活動が、「残ろうの再利用」や「電気の代わりにキャンドルを使う」といった環境問題に関係することに注目していただくきっかけになると考えています。



滋賀県立大学 あかりんちゅ

住所: 滋賀県彦根市八坂町2500 TEL:0749-28-8616

創業:2009年

業種:使用済みのろうそく(残ろう)の回収、残ろうの加工、地域のイベント(キャンドル作り体験・キャンドルナイト等)への参加

当団体は、捨てられてしまうろうソクの回収・加工を行い、加工したものを地域のイベントに使用しています。私たちの活動は、ろうソクを提供して下さる方、イベントを紹介して下さる方といった地域の方々の協力なしでは、続けることができません。当団体の環境に配慮した活動を続けるために、そして地域に貢献し続けるために、私たちは地域の方との関わりを大切にしていきたいと考えています。



代表
子安 希実さん



滋賀県立大学 環境活動部LEAFS(彦根市)

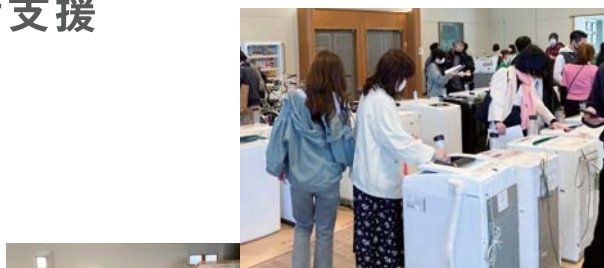


リサイクル市で新入生の生活支援

環境活動部 LEAFSは、環境保全の意識を広めるために、リサイクル市の企画・運営や、湖岸沿いの清掃活動、子供向けの環境教育などを行っている団体です。

LEAFSのリサイクル市は、廃棄物の削減と新入生の経済的負担の軽減を目的に始めました。卒業生が不要となった家具や家電を、新入生に格安で譲渡することで、リユースによる廃棄物の削減と持続可能な消費の促進を目指しています。

具体的には、部員が卒業生の下宿先を訪れ、家具・家電を回収し、洗浄や動作確認を実施します。その後、会場に運び込み、種類ごとに配置し、来場者が見やすく購入しやすいよう工夫しています。昨年は293点の家具・家電を回収し、約100組の新入生に利用いただきました。



この活動を通じて、リサイクル市は廃棄物の削減に貢献すると同時に、新入生の生活立ち上げに役立っています。また、アンケートからも「見やすく配置されていて、配送と設置のサービスが便利だった」という高評価を頂き、参加者にとっても満足度の高いイベントとなっています。

LEAFSは今後、ルールの明確化や広報の強化を図り、参加者数の増加とトラブルの未然防止を目指します。また、環境負荷のさらなる軽減に向けて、売れ残りや廃棄物の量を抑える仕組みづくりにも取り組む予定です。



滋賀県立大学 環境活動部LEAFS

住所: 滋賀県彦根市八坂町2500 TEL: 0749-28-8370
HP: <https://leafs-usp.wixsite.com/npoleafs>
業種: 環境に関するイベントの企画・運営、ボランティア活動

当団体は、学生の視点から持続可能な社会づくりに貢献するため、リサイクル市の運営を通じて廃棄物削減と新入生の生活支援を行っています。家具・家電の再利用を促進することで、限りある資源の有効活用を目指し、地域とのつながりも深めています。今後も地域の企業や団体と協力し、さらに多くの方々に環境保護の重要性を伝え、持続可能な消費行動を推進してまいります。

環境活動部LEAFS 飛鳥井 絢菜さん



滋賀県のごみ減量・資源化の取組等に関するお問い合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
TEL: 077-528-3477 FAX: 077-528-4845

Awards Collection

令和6年度 滋賀県 プラスチックごみ・食品ロス削減 優良取組事業者表彰



プラスチックごみまたは食品ロスの削減に関して、他者の模範となる優れた取組を行った個人、事業者または団体の功績をたたえるため、本表彰を実施しています。令和6年度は下記の事業所・団体が受賞されました。

- 受賞者**
- 元三フード株式会社(大津市堅田1丁目1-15)
 - 滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合(大津市打出浜13-22-202)
 - 株式会社Fast Fitness Japan(東京都新宿区西新宿6-3-1新宿アイランドウイング10F)
 - 一般社団法人フードバンクびわ湖(甲賀市水口町北脇557)
 - ONESLASH株式会社(長浜市西浅井町庄979番地1)

滋賀県ごみ減量・資源化情報サイト

「ごみゼロチャレンジしが」は、ごみとして捨てられるものの量を減らし、今までごみにしていたものを「資源」として繰り返し使うためのヒントを沢山掲載している情報サイトです。「ごみゼロチャレンジしが」を活用し、循環型社会の形成に向けた取組にチャレンジしてみましょう！



掲載情報

- プラスチックごみについて(概要、プラチャレ通信、取組紹介など)
- 食品ロスについて(概要、フードドライブ開催情報、取組紹介など)
- その他のごみゼロについて(概要、県内市町のごみ処理状況、資源物の店頭回収状況、資源物の提供・引受情報、フリーマーケット開催情報、県内の修理屋、取組紹介など)
- キッズページ(ごみ全般、プラスチックごみについて、食品ロスについて)

ごみゼロチャレンジしが



令和6年度
滋賀県プラスチックごみ・食品ロス削減
優良取組表彰



元三フード株式会社
(滋賀県大津市堅田1丁目1-15)

げんさんの
売りつくし宣言



元三フード株式会社の取組

げんさん(元三フード株式会社)は、滋賀県を中心に京都・大阪に直営店25店舗を展開し、近江牛・国産げんさん牛を生産・販売しています。全店舗にて毎週売りつくしを実施することで食品ロスの削減に寄与するとともに、売りつくしの翌日には新鮮な商品をお届けできることでお客様に喜んでいただいています。

売りつくしの取組は、テナント出店している店舗では売りつくし日を設定し、自社スーパーでは毎週定休日の前日に実施することでより徹底しております。また、こまめに商品管理してのタイムサービスや割引等様々な企画を駆使して実施しています。もちろん地元農家さんや提携取引先様との連携も大きな強みの1つです。

約30年、変わることなく売りつくしを継続することで、食品ロスをほとんど発生させない形で営業を続けています。



令和6年度
滋賀県プラスチックごみ・食品ロス削減
優良取組表彰



元三フード株式会社



受賞者コメント

この度は、令和6年度「滋賀県プラスチックごみ・食品ロス削減優良取組表彰」の受賞にあたり、当社の長年にわたる取り組みを評価いただきまして誠にありがとうございます。フードロスが問題となる中で、弊社はこの取り組みを通じ、お客様に新鮮かつ安心安全な牛肉や自慢の商品をお届けし、食品ロスゼロを心がけてきました。また、このような賞を受賞できたのは、私たちだけの力ではなく、多くの取引先様や地元農家の方々、お客様との信頼関係があったからこそだと感じています。そのお陰様をもちまして、30年間強い想いをもって、「売りつくし宣言」を実施することができました。私たちはこれからも食を通じて、滋賀県・そして社会に貢献して参りたいと思います。



令和6年度
滋賀県プラスチックごみ・食品ロス削減
優良取組表彰



滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合

(滋賀県大津市打出浜13-22-202)

使い捨てのプラスチック製アメニティを 無くすことによる プラスチックごみおよびCO2削減への貢献



滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合の取組

滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合は、県内で旅館やホテルなど宿泊業を営む事業者201社（2024年10月末現在）で構成される組合です。

旅館やホテルで提供されるプラスチック製アメニティは、一般的に使い捨てが当たり前になっており、提供を止めることは容易ではありません。そのため、お客様の理解を得ることを目的とし、宿泊客に向けた独自の啓発活動に取り組んでいます。

具体的な取組として、宿泊客の理解を得るための部屋置きメッセージカードを作成し、客室に設置しています。カードには、かけがえのない「琵琶湖」を未来に引き継ぐため、プラスチックごみの削減に組合員全員で取り組み、宿泊施設で提供されるアメニティのプラスチックごみを0にしたいという組合の想いと目標が示されています。また、産学連携による使い捨てアメニティの廃棄量の見える化にも取り組んでいます。

2025年の国スポ・障スポ開催に向けて、各府県の選手団にも衛生用品の持参を働きかけており、こうした行動変容の定着が大会のレガシーの一つとなることを期待しています。



受賞者コメント

この度、令和6年度「滋賀県プラスチックごみ・食品ロス削減優良取組表彰」をいただきありがとうございます。我々がめざす“2030年までにプラスチックアメニティをゼロにする”取り組みが評価されたことは大変ありがたく思う反面、身の引き締まる思いでもあります。私達の観光資源でもあり、生活の一部でもある琵琶湖を後世によりいい状態で引き継いでいきたいという思いから、この活動を行っており、宿泊されるお客様にも協力をお願いしております。今までの当たり前を変えるのは容易ではありません。ほんの少しの心がけで、琵琶湖やその周辺を守ることができます。より一層、推進に力を注いでまいりたいと思いますし、お客様にも滋賀に宿泊の際は、是非とも、使い慣れた歯ブラシなどをご持参いただければと思います。

令和6年度
滋賀県プラスチックごみ・食品ロス削減
優良取組表彰



株式会社Fast Fitness Japan

(東京都新宿区西新宿6-3-1新宿アイランドウイング10F)

フードドライブ活動『SDGsダイエット』の実施および 「水素水サーバー設置」と「ペットボトルキャップワクチン活動」の 実施によるプラごみ削減



株式会社Fast Fitness Japanの取組

株式会社Fast Fitness Japanは、24時間ジムの
エニタイムフィットネスを全国で運営しています。

県内のエニタイムフィットネス店舗において、
「SDGsダイエット」と銘打ったフードドライブ
活動として、「家庭で余る食品とお腹に余る脂肪を
ダイエットして、食品ロス削減と余分な贅肉の削
減を目指そう!!」というフィットネスジムならではの
食品ロス削減の取組を実施しています。会員型
事業であるからこそ、会員の皆様との継続したコ
ミュニケーション機会を活かし、多くの会員の皆様
から本活動へのご理解を頂戴し、寄付も定期的に
いただいております。

また、水素水サーバーの設置・専用アルミボトル
のプレゼントによりペットボトルの使用削減に努
め、削減量の可視化にも取り組むことでプラス
チックごみ発生抑制に対する啓発を行うほか、水
素水サーバーを利用しない方々に対しても、ペッ
トボトルキャップの分別回収により世界の子供た
ちにワクチンを届けることができる「ペットボ
トルキャップ回収運動」を実施することで、プラス
チックごみの削減に取り組んでいます。



令和6年度
滋賀県プラスチックごみ・食品ロス削減
優良取組表彰



株式会社Fast Fitness Japan



受賞者コメント

この度は栄えある賞を頂戴し誠に光栄に思います。弊社は「ヘルシアブレイスを
すべての人々へ!」をスローガンに、「誰もが健康的に暮らせる、心豊かな社会の実
現」を目指す24時間営業のフィットネスジム『エニタイムフィットネス』を運営しております。特に、滋賀
県全11店舗で開催したSDGsダイエットと銘打ったフードドライブ活動では、会員の皆さまの大いなる
ご協力により、100kgを超える食品を回収しフードバンク滋賀様にお渡しし、生活にお困りの世帯にお配り
ができました。これからも、明日が今日よりも少しでも健康で豊かな日になるように、わたしたちにできる
ことをひとつひとつ積み重ねていき、一人ひとりのココロとカラダが健康になり、ひいては社会全体の健
康、健全な暮らしにつながると信じ、持続可能な社会に貢献していくことを目指していきます。



令和6年度
滋賀県プラスチックごみ・食品ロス削減
優良取組表彰



一般社団法人フードバンクびわ湖
(滋賀県甲賀市水口町北脇557)

フードドライブの普及推進による
食品ロス削減への取組



一般社団法人フードバンクびわ湖の取組

フードバンクびわ湖は、①フードボックスの設置、②コミュニティに対するフードドライブの推奨、③環境イベント等におけるフードドライブ実施の3点の取組により、県内におけるフードドライブの普及推進に取り組んでいます。

食品ロスの削減に向けて、県を含めた各自治体と連携して、フードドライブで集まった食品の受託やフードボックスの設置を実施しているほか、県内の企業・団体と連携したフードドライブを実施しています。また、自らも自治体や団体が主催する環境イベントにブース出展し、食品の回収に努めています。

フードドライブの普及推進を本格的に開始した2019年以降の取組により、県内14市町77か所へのフードボックスの設置や、防災用備蓄食品や休校等で不要となった給食用食材の引き取りを実施しているほか、他の団体にもフードドライブの取組を波及させるなど、県内にフードドライブを広く普及させることができています。



令和6年度
滋賀県プラスチックごみ・食品ロス削減
優良取組表彰



一般社団法人フードバンクびわ湖



受賞者コメント

この度は、栄誉ある賞を頂戴致し光栄の至りに存じます。これも偏に、フードボックスに食品をお寄せくださる滋賀県民の皆様、フードドライブに取り組んでくださる企業・団体様の尊い善意のお陰と心より感謝申し上げます。当法人が心血を注いできたフードドライブの普及推進により、食べ切れない食品をフードボックスに投函するだけで、コミュニティ内で持ち寄るだけで、誰もが食品ロス削減に協力でき、食料を必要とする人の支えとなり、ひいては滋賀の環境と福祉の向上に貢献できるということを多くの県民の皆様が理解してくださるようになったと僣越ながら自負しております。今後も、「もったいないを笑顔と絆に！」を合言葉に、フードドライブが日本人の美德「もったいない」「お陰様」「お互い様」精神を呼び覚まし、地域の「笑顔と絆」を育み、持続可能な地域共生社会実現を後押しすると信じて、フードドライブの普及推進に精進致す所存です。



令和6年度
滋賀県プラスチックごみ・食品ロス削減
優良取組表彰



ONESLASH株式会社

(滋賀県長浜市西浅井町庄979番地1)

お米の「食べる価値」に加え、「資源の価値」を創出！ お米由来のバイオマスプラスチック 「ライスレジン」の製造



ONESLASH株式会社の取組

ONESLASH株式会社では、お米の新たな価値「資源の価値」を創出し、お米の新たな需要を広げることが目的として、耕作放棄地を開拓し、「ライスレジン」の原料となる資源米の栽培を行っています。「ライスレジン」とは、古米や割れ米などの処理されずに廃棄されてしまうお米や資源米をプラスチックへとアップサイクルした、地球にやさしいお米のバイオマスプラスチックです。

食用に適さない割れ米、古米などをアップサイクルできるため、食品ロスの削減に寄与しています。また、イベントやグッズ販売の際にライスレジンの袋を提供することで、一般的なプラスチックの使用削減を行っています。

また、資源米の田植えや刈り取りを行う農業体験イベントを通して、古米や割れ米をアップサイクルする仕組みなどを伝えたり、「お米×〇〇は〇〇な社会になる」をテーマに、参加者と一緒にお米の新たな可能性について話し合っています。

今後は、指定用ごみ袋やカトラリーをライスレジンに変えることを目標に、一般的なプラスチック削減を目指していきたいと考えています。



令和6年度
滋賀県プラスチックごみ・食品ロス削減
優良取組表彰



ONESLASH株式会社



受賞者コメント

この度は栄誉ある賞をいただき誠にありがとうございます。僕たちは「RICE IS COMEDY(米作りは喜劇だ)」をコンセプトに農業・一次産業に持たれがちな「きつい、汚い、儲からない」といったネガティブなイメージをポジティブに変えるため、お米の美味しさやお米づくりの楽しさ、お米の新たな可能性をYouTubeやSNS、農業体験などで発信しています。日本の伝統文化である「お米作り」は高齢化や担い手不足などの原因で昔の活気が失われつつあると言われています。しかし僕たちは根本の原因であるネガティブなイメージを変えることが大事だと考えています。僕たちが今回の賞をいただくことで、たくさんの方にお米の新たな価値、新たな可能性を知っていただけること、そして農業・一次産業を元気にすることが出来たら幸いです。この度はありがとうございました。



しがプラスチックチャレンジプロジェクト

滋賀県では、令和5年10月から、県民の皆様に対し、ライフスタイルを見直し、プラスチック代替製品の利用、マイボトルの持参などプラスチックごみ削減に向けた実践行動のチャレンジを後押しする「しがプラスチックチャレンジプロジェクト」を展開しています。

■「しがプラチャレンジの日」

毎月一日を「しがプラチャレンジの日」とし、プラスチックごみ削減に資する行動をとる特別な日と捉え、ライフスタイルを切り替える機会とします。皆様のチャレンジをサポートするため、毎月発行する「プラチャレ通信」で実践行動の例をご紹介します。また、「しがプラチャレンジの日 テーマソング」やプラごみ問題や実践取組に関する動画配信等も行っております。

プロジェクトの詳細については、滋賀県ホームページ「ごみゼロチャレンジしが」をご確認ください。



毎月ついでに
しがプラチャレンジの日

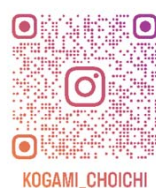


▲プロジェクトの
詳細



▲ 湖神 挑一
(プロジェクトキャラクター)

湖神 挑一くん
インスタ始めました！
ぜひフォローしてください！



KOGAMI_CHOICHI

滋賀県食品ロス削減推進計画 の概要

■計画の理念「三方よしと県民総参加でフードエコ」の概要

「売り手よし!」、「買い手よし!」、「環境よし!」の「三方よし」の精神のもと、県民総参加で「食品（フード）」の「環境保護への取組（エコ）」を実践。

■施策の方向性と基本的施策

- (1) 知識や意識の向上と具体的な行動の実践
- (2) 食品ロス発生量等の実態把握
- (3) 未利用食品を有効活用する仕組みづくり

■求められる役割と行動

- 県民一人一人が食品ロスの問題を「我が事」として捉え、「行動」に移すことが必要。
- 消費者、事業者、マスコミ・消費者団体・NPO等、県、市町が、それぞれに「求められる役割と行動」を実践するとともに、各主体が連携し、食品ロス削減の取組を推進。



▲計画の詳細